



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミューチュアル

コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 榎本 洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,077	△28.9	△138	—	△123	—	△84	—
27年3月期第1四半期	1,515	11.4	△48	—	△34	—	△17	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △86百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△11.95	—
27年3月期第1四半期	△2.49	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	14,171	7,887	53.9	1,076.42
27年3月期	14,628	8,142	53.9	1,110.49

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 7,644百万円 27年3月期 7,886百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	22.3	270	—	277	885.2	143	675.7	20.13
通期	12,660	11.9	1,040	13.3	1,060	7.4	616	10.3	86.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	7,620,320 株	27年3月期	7,620,320 株
28年3月期1Q	518,249 株	27年3月期	518,129 株
28年3月期1Q	7,102,131 株	27年3月期1Q	7,102,287 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇率の低下に伴う実質所得の下げ止まりや、株高・原油安を背景とした消費者マインドの改善により、個人消費が持ち直している他、企業収益の改善が設備投資の増加に寄与する等、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、欧州債務問題や中国、新興国を中心とした海外経済の減速による影響も懸念されることから、先行きは不透明な状況となりました。

このような状況下、当社グループでは大型展示会を通じ、食品業界向けにリーズナブルな輸入機を紹介する他、東京技術センター内に開設準備をしております、粉体ラボセンターにおいて、実機で十分なテストをして頂ける体制を整備しております。また、平成27年4月1日付で吸収合併いたしました、エンジ会社と共に高性能・高付加価値設備を積極的に提案する等、受注強化に注力して参りました。売上高につきましては、前期末に駆け込み需要を取り込んだ反動減を主要因として、前年同期比438百万円減少いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が前年同期比2.2ポイント改善されましたが、減収分を補えず売上総利益は76百万円減少しました。また、諸手数料や展示会関連での広告宣伝費等、販売費及び一般管理費が増加したため、営業損益以下の段階利益も減益となり、損失計上となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,077百万円（前年同期比28.9%減）、売上総利益は269百万円（同22.1%減）、営業損失は138百万円（前年同期は48百万円の損失）、経常損失は123百万円（前年同期は34百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は84百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

#### ①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では925百万円（前年同期比31.7%減）でありました。このうち、製剤機が27百万円（前年同期比4804.0%増）、充填機が292百万円（同175.6%増）、包装機が132百万円（同22.2%増）と好調に推移いたしました。検査装置が79百万円（同79.8%減）、改造・調整・修理が240百万円（同33.6%減）、部品が152百万円（同18.8%減）と減少しました。

#### ②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高135百万円（前年同期比4.1%減）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド77百万円（同19.4%増）、原石44百万円（同3.5%減）、パウダー14百万円（同18.2%減）等となっております。

#### ③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高16百万円（前年同期比12.1%減）であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比456百万円減少し、14,171百万円となりました。これは主として前渡金が584百万円、仕掛品が568百万円、有価証券が499百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,925百万円、現金及び預金が263百万円減少したことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比200百万円減少し、6,284百万円となりました。これは主として、前受金が1,104百万円増加する一方で、支払手形及び買掛金、電子記録債務が合計で922百万円、未払法人税等が248百万円、賞与引当金が57百万円減少したことによるものです。純資産は、主として配当金の支払い163百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失84百万円により、7,887百万円となり前連結会計年度末比255百万円の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、受注残は前年同期比3,833百万円増加し10,997百万円と引き続き好調に推移しており、平成27年5月18日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,735,110	3,471,512
受取手形及び売掛金	4,482,454	2,557,348
有価証券	59,962	559,956
商品及び製品	65,729	65,576
仕掛品	1,529,459	2,097,939
原材料	71,047	62,588
前渡金	772,589	1,356,732
繰延税金資産	137,901	139,928
その他	316,308	368,503
貸倒引当金	△4,475	△2,415
流動資産合計	11,166,087	10,677,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	450,870	448,551
土地	668,904	668,904
その他(純額)	166,782	192,791
有形固定資産合計	1,286,557	1,310,247
無形固定資産		
のれん	4,564	2,282
その他	8,243	7,844
無形固定資産合計	12,807	10,126
投資その他の資産		
投資有価証券	1,535,113	1,538,645
長期預金	151,500	150,000
その他	1,096,690	1,105,697
貸倒引当金	△620,679	△620,677
投資その他の資産合計	2,162,624	2,173,665
固定資産合計	3,461,989	3,494,040
資産合計	14,628,077	14,171,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,601,856	2,911,333
電子記録債務	756,176	523,929
短期借入金	182,020	162,200
1年内返済予定の長期借入金	12,020	7,040
未払法人税等	250,928	2,458
前受金	961,368	2,065,599
賞与引当金	103,093	45,749
その他	307,680	285,953
流動負債合計	6,175,142	6,004,262
固定負債		
退職給付に係る負債	158,898	159,953
役員退職慰労引当金	73,360	74,576
その他	78,143	45,853
固定負債合計	310,403	280,383
負債合計	6,485,545	6,284,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	6,220,250	5,972,014
自己株式	△262,317	△262,409
株主資本合計	7,323,607	7,075,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	573,116	575,185
繰延ヘッジ損益	△9,760	△5,475
為替換算調整勘定	△48	△180
その他の包括利益累計額合計	563,307	569,529
非支配株主持分	255,617	242,254
純資産合計	8,142,531	7,887,063
負債純資産合計	14,628,077	14,171,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,515,430	1,077,176
売上原価	1,169,963	808,029
売上総利益	345,467	269,147
販売費及び一般管理費	393,624	407,991
営業損失(△)	△48,156	△138,844
営業外収益		
受取利息	2,970	3,161
受取配当金	11,785	10,432
為替差益	—	4,438
その他	3,769	648
営業外収益合計	18,525	18,680
営業外費用		
支払利息	389	557
為替差損	4,678	—
投資有価証券評価損	—	2,045
その他	10	920
営業外費用合計	5,078	3,523
経常損失(△)	△34,708	△123,686
特別利益		
固定資産売却益	1,851	131
特別利益合計	1,851	131
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,857	△123,554
法人税、住民税及び事業税	19,741	1,006
法人税等調整額	△29,463	△31,623
法人税等合計	△9,722	△30,616
四半期純損失(△)	△23,135	△92,938
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,464	△8,052
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,670	△84,885



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△23,135	△92,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,822	2,108
繰延ヘッジ損益	△5,965	4,284
為替換算調整勘定	△149	△131
その他の包括利益合計	△292	6,261
四半期包括利益	△23,427	△86,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,756	△78,663
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,670	△8,012

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,355,397	141,356	1,496,754	18,676	1,515,430	—	1,515,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,355,397	141,356	1,496,754	18,676	1,515,430	—	1,515,430
セグメント利益又は損失(△)	33,041	17,645	50,687	△162	50,524	△98,681	△48,156

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△98,681千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	925,236	135,523	1,060,760	16,416	1,077,176	—	1,077,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	925,236	135,523	1,060,760	16,416	1,077,176	—	1,077,176
セグメント利益又は損失(△)	△38,638	17,794	△20,843	3,961	△16,882	△121,961	△138,844

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△121,961千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。